

平成26年第7回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

1 開催日時

平成26年4月17日（木）15時00分から16時08分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

住吉徳彦、奥田竜子、清家渉、久保田誠二、宮本美代子、城戸秀明（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職員

教育次長 西牟田龍治、理事 中村潤、理事兼総務部長 川添弘人、
教育企画部長 吉田法稔、教育振興部長 辰田一郎、総務課長 大場茂嘉、
財務課長 後藤和孝、文化財保護課長 赤司善彦、企画調整課長 木原茂、
社会教育課長 上田哲子、教職員課長 原田靖、施設課長 原正彦、
義務教育課長 早川昌宏、体育スポーツ健康課長 日高公徳

6 会議

15時00分、住吉委員長が開会を宣言した。審議に先立ち、城戸教育長から教育長就任のあいさつ、4月1日付人事異動に伴う新任及び転任幹部の紹介があった。

次に、住吉委員長が本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

第21号議案「福岡県教職員身体検査審議会委員の人事について」及び第22号議案「平成26年度福岡県教科用図書選定審議会委員の人事について」は、清家委員から、人事に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議案については、非公開の発議なく公開と決定された。

（1）その他

- ・平成26年2月定例県議会における教育委員会答弁要旨

城戸教育長から、2月定例県議会における教育委員会関連の代表質問、一般質問に対する以下の答弁要旨について説明があった。

(代表質問) 教員による医療的ケア、ICT教育の推進、奨学金の充実等教育機会均等、教科書改革に係る国の方針、英語教育、高校日本史の必修化、県立高校の定員割れ問題、読書活動の推進、学びの共同体、土曜授業、学力向上推進強化市町村の指定、教員採用試験の改善、子どもたちの心の問題、道徳教育、キャリア教育、規範意識・社会性を高める取組等

(一般質問) がん教育、脱法ハーブに係る薬物乱用防止教育、金融経済教育、退職教員の活用、体力向上への取組、生活保護世帯の子どもたちの不登校と学力向上への取組、就学援助費の支給格差、コミュニティスクールの拡充、発達障害・不登校生徒への取組、読書活動の推進、高校生の国際交流、県立高校の定員割れ問題、栄養教諭の配置、ボーイスカウト活動等

(2) 議事

- ・第20号議案 へき地等学校の指定に関する規則の一部を改正する規則の制定について

原田教職員課長から、嘉麻市立宮野小学校桑野分校及び嘉麻市立泉河内小学校が平成26年3月31日をもって廃止されたため、規定の整備を行うものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、住吉委員長から、廃校による子どもたちの通学方法に関しての質問があった。これに対し、原田教職員課長から、スクールバスの運行を行っている旨の説明があった。

住吉委員長から、他の意見の有無を問い、これについては全員異議なく、第20号議案は原案どおり可決された。

公開審議はここまでとされ、住吉委員長から傍聴人に対して退出が求められた。以後非公開にて審議を行う。

- ・第21号議案 福岡県教職員身体検査審議会委員の人事について

原田教職員課長から、福岡県教職員身体検査審議会規則第5条の規定に基づき、福岡県教職員身体検査審議会委員の人事を行うものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第21号議案は原案どおり可決された。

- ・第22号議案 平成26年度福岡県教科用図書選定審議会委員の人事について

早川義務教育課長から、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第10条の規定に基づき、平成26年度福岡県教科用図書選定審議会委員の人事を行うものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第22号議案は原案どおり可決された。

住吉委員長が閉会を宣言し、16時08分閉会した。